カリツーCSRレポート

2020

KARITSU

１．トップメッセージ

すべてのステークホルダーの皆さまに「安心」と「信頼」を提供し、社員が「誇り」と「よろこび」を感じられる企業をめざします

すべてのステークホルダーの皆さまへ

私たち、カリツー株式会社（旧社名:刈谷通運株式会社）は、1951 年（昭和 26 年）2 月の創業以来、半世紀以上にわたり、地域の皆さまとともに歩み、おかげさまで 2020 年（令和 2 年）には、創業 69 年を迎えることができました。

私たちは、企業理念に「我々は社業を通し、良き企業市民としての良識をもって地域社会に貢献する」をかかげ、ＣＳＲ経営を推進して参りました。

今世界は大変な状況を迎えておりますが、このような時こそ物流を通じて「安心」と「信頼」をご提供できるよう、安全・品質向上、環境保全、コンプライアンスを徹底して、皆さまと共にこの難局を乗り切る所存です。

この度、当社のＣＳＲに関わる取組みについて、2019 年度の活動を中心にまとめましたので、ＣＳＲレポートとしてご報告させて頂きます。

当社は今後も事業活動を通じたＣＳＲ活動に取組み、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えられるよう努力して参りますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020 年 5 月
カリツー株式会社
取締役社長　加藤　正則

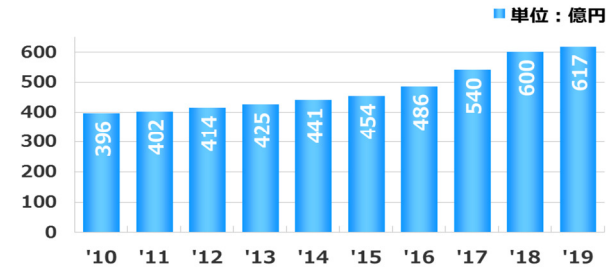
2．事業概要 （※1）

（1）会社概要

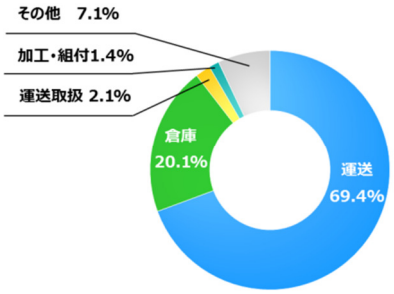
■社名	カリツー株式会社
■本社所在地	〒446-8540 愛知県安城市三河安城町 1-4-4 TEL:0566-73-5600 FAX:0566-73-5606
■創業	1951 年 2 月 28 日
■資本金	75,000 千円
■社員数	2,757 名
■車両保有台数	1,842 台 ＜内訳＞ ■大型（5t 車以上） ： 803 台 ■小型（5t 車未満） ： 219 台 ■フォークリフト ： 820 台
■営業種目	■貨物自動車運送事業 ■利用運送事業＜JR 貨物＞ ■運送取次事業 ■倉庫業 ■荷造包装業 ■代行納入業 ■加工組付け業 ■自家用自動車管理業 ■不動産管理業 ■作業請負事業 ■特定信書便事業 ■貨物軽自動車運送事業 ■旅行業 ■太陽光発電売電事業 ■カリツー安全教育研修センター ■通関業 ■産業廃棄物収集運搬業
■グループ会社	■光徳商事株式会社 ■千幸開発株式会社 ■カリツー東日本株式会社 ■大和高速運輸株式会社 ■刈通オートテクノ株式会社 ■カリツー北海道株式会社 ■光徳運輸株式会社 ■日豊高速運輸株式会社 ■カリツー九州株式会社

（2）企業データ

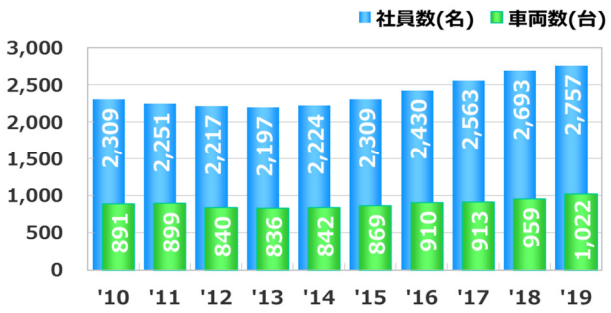
■売上高の推移（単独）



■売上高の構成



■社員数・車両数の推移



■倉庫面積

地域	倉庫面積（単位㎡）
愛知県内小計	320,230
北海道圏小計	4,755
関東圏小計	10,525
関西圏小計	4,295
中国・九州圏小計	25,595
全社合計	365,400

※1 2020 年 3 月末時点

カリツーCSR レポート

カリツー株式会社の全てのステークホルダーの皆さまに、当社のＣＳＲ（企業の社会的責任）に対する姿勢と取組みについて理解を深めて頂くため、カリツーＣＳＲレポートを発行しております。
今年で８回目となります本レポートでは、2019 年度（2019 年４月１日～2020 年３月 31 日）の活動についてご報告させて頂きます。

目　次

１．トップメッセージ …… 1
２．事業概要 …… 2
３．ＣＳＲへの取組み …… 4
４．マネジメントシステム …… 5
５．安全・品質に係わる活動 …… 10
６．環境に係わる活動 …… 17
７．ステークホルダーに係わる活動 …… 23

2019 年度主なトピックス

国際物流サービス

□国際物流サービスの開始

2019 年 6 月に通関業の許可を取得し、国際物流サービスを開始しました。
梱包から通関、港湾荷役、輸送業務まで顧客と海外のご依頼先を結ぶ一貫した物流サービスを提供します。

西尾営業所

□物流施設の増築等

2019 年４月１日、苅田営業所を新設しました。
2019 年７月５日、西尾営業所を移転しました。
2019 年８月 19 日、群馬営業所を新設しました。
2019 年 11 月 1 日、カリツー東日本株式会社の山形出張所を新設しました。

全国フォークリフト運転競技大会優勝

□第 34 回全国フォークリフト運転競技大会優勝

2019 年 9 月 29 日に第 34 回全国フォークリフト運転競技大会が開催されました。
愛知県代表として、昨年に続いて刈谷物流センター混載課の塩澤選手が出場し、見事優勝しました。
当社では、初めての全国フォークリフト運転競技大会での優勝となりました。

3．ＣＳＲへの取組み

安全・品質の向上

労働災害・交通事故・製品事故の防止のため、安全に関する計画を立て実施しています。
品質の向上のため、教育訓練の実施など、力量の向上に取組んでいます。

○定期的な訓練の実施
実際の作業環境を模した訓練道場の活用など、定期的な訓練に取組んでいます。
トラック・フォークリフト大会の開催や出場を通して、一人ひとりの力量 UP に努めています。

○職場環境の整備
職場巡視などを通じて、職場環境の問題点を洗い出し、事故防止と働きやすい職場作りを推進しています。

環境への配慮

燃費向上の取組み、環境にやさしい車両・設備の導入など、環境に配慮しています。

○燃費向上に向けた取組み
ドライブマスターなどの機器の活用や、省エネ運転などの教育を通じて、燃費向上に取組んでいます。

○環境にやさしい機器の活用
低公害車や太陽光発電設備など、環境にやさしい機器を活用しています。

社会との共生

企業理念のもと、地域社会と関わる様々な活動を通して、良き企業市民を目指しています。

○地域の交通安全への取組み
拠点ごとの定期的な交通安全立ち番や、交通安全教室へのトラックの提供など、地域の交通安全活動に取組んでいます。

○社会貢献活動
震災被災地域への支援や献血活動、NPO や芸術・スポーツ団体への協賛などを行っています。

４． マネジメントシステム

（１）理念・方針

■企業理念

１．我々は社業を通し、良き企業市民としての良識をもって地域社会に貢献する。

２．我々は常に新しい価値の創造に努め最高の品質、最高のサービスをもって業界ナンバーワンを目指す。

３．我々は「企業は人なり」の信念のもとに、人間性を尊重し常に研鑽に励み自由でかっ達な社風づくりに努める。

■基本方針

１．企業の特性と環境変化を良く見極めながら、事業の未来図を策定し、今後の事業展開を体系的に進めていく

２．短期的な利益追求ではなく、常に先見性を養い、長期的視野に立って先行投資を続け“危機”を創造し、それを企業発展への“機会”に変えるよう努力する

３．「ＩＴ、環境、安全（品質）」を 21 世紀初頭のテーマとして掲げ、全社員が一致協力し、地域社会貢献と社業発展に一層努力する

■カリツービジョン 2020

□めざす姿

すべてのステークホルダーに「安心」と「信頼」を提供し、社員が「誇り」と「よろこび」を感じられる企業をめざします

□行動指針

１．プラスαのサービスと品質でお客さまに満足と感動を提供します

２．やさしい運転、コンプライアンスを通して地域社会に安心と安全を提供します

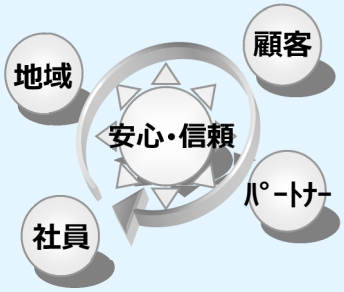
３．現状に満足せず変革に挑戦し、成長と進化をめざします

■2020 年度運営方針

真の競争力を身につけるために、意識を変えスピード感を持って抜本的な改革を推進する

■2020 年度スローガン

未来に向けて大変革期の今こそ総智・総力を結集



■安全・品質・環境方針

□基本方針

1．我々は、安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し全ての業務の安全性向上に努め、無事故、無災害を達成する。
2．我々は、常に新しい価値の創造に努め最高の品質、最高のサービスをもって業界ナンバーワンを目指す。
3．我々は、物流を中心とした全ての企業活動において、環境負荷をできるかぎり低減することで社会に貢献する。

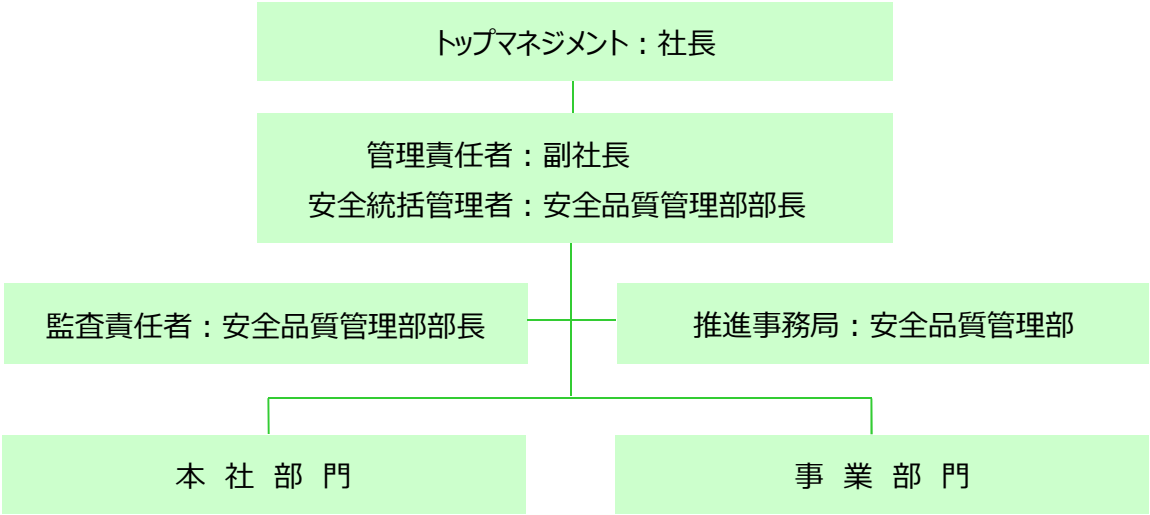
□行動指針

1．安全の確保、顧客満足度の向上を図るため、また、地域及び地球の環境保全を推進するため、輸送事業、倉庫事業及びその他の関連事業において、次に掲げる事項を全社員が一丸となって取組む。
（1）労働災害の撲滅
（2）交通事故の撲滅
（3）製品事故等の撲滅
（4）省エネルギー及び省資源の推進
（5）廃棄物の削減及びリサイクルの推進
（6）グリーン調達の推進
2．上記の項目を展開するため、安全・品質・環境目的及び目標を設定し積極的に推進するとともに、定期的に見直しを行う。
3．事業活動及び環境に関する法令並びに当社が同意するその他の要求事項を順守する。
4．安全・品質・環境に関する内部監査を行い、必要な是正処置・予防処置を講じる。
5．安全の確保、顧客要求事項への適合及び環境問題を常に意識し汚染の予防及び安全・品質・環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
6．安全・品質・環境に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うように努める。
7．安全・品質・環境に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有する。
8．安全・品質・環境に関する教育及び研修の具体的な計画を作成し、これを的確に実施する。
9．業務委託先の安全・品質・環境の向上に協力するように努める。
10．この安全・品質・環境方針は、当社で働くすべての人に周知するとともに、一般に公表する。

■個人情報保護方針

1．個人情報の取得・利用・預託について
当社は適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得致します。
当社は個人情報を取得の際に示した利用目的の適用範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて、利用します。
2．個人情報の第三者提供について
当社は法令に定める場合を除き、個人情報を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供致しません。
3．個人情報の安全管理について
当社は個人情報の的確性を保ち、これを安全に管理致します。
4．個人情報に関する法令及び規範の順守
当社は、個人情報の取り扱いについて、個人情報保護法をはじめとして、関連する法令及びガイドラインを順守します。
5．個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について
当社は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求があった場合にはこれに応じます。
6．組織・体制
当社は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施します。
7．個人情報保護コンプライアンスプログラムの策定・実施・維持・改善
当社は個人情報保護を適切に維持するため、個人情報保護に関するコンプライアンスプログラムを策定し、運用するとともに、これを継続的に改善します。

（2）品質・環境・道路交通安全マネジメントシステム推進組織



（3）外部認証

■外部認証機関による ISO 審査

年 1 回、外部認証機関による、品質・環境・道路交通安全に関する ISO 審査を受けています。
2019 年 9 月、5 日間にわたり審査を受け、ISO9001・14001・39001（※1）の登録継続が承認されました。検出課題に対しては、是正処置・水平展開を行い、マネジメントシステムの維持・改善を実施しています。

間接部門の ISO 審査

品質・環境・道路交通安全 ISO 登録証

■ISO 認証登録状況

品質・環境・道路交通安全に関する ISO 認証を取得しています。

□ISO9001・ISO14001

2000 年から品質マネジメントシステムの ISO9001、環境マネジメントシステムの ISO14001 の認証登録を開始し、随時対象拠点を拡大して参りました。
2019 年度末現在、本社及び 38 の拠点にて認証登録を受けています。

□ISO39001

2014 年から道路交通安全マネジメントシステムの ISO39001 の認証登録を開始しています。
2019 年度末現在、1 部署及び 3 事業所にて認証登録を受けています。

※1 道路交通事故による死亡者と重傷者の撲滅を目的に、業種・規模を問わず、道路交通に関連するあらゆる組織が取組むべき要求事項を定めた道路交通安全マネジメントシステムの国際規格

ISO 認証取得状況一覧表

No.	事業所・部署	認証取得日		
		ISO9001:2015	ISO14001:2015	ISO39001:2012
1	本社	2000 年 01 月 04 日	2000 年 12 月 05 日	-
2	安全品質管理部			2014 年 02 月 18 日
3	豊田西物流センター	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
4	みよし物流センター	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	-
5	田原物流センター営業１課・２課	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	-
6	田原物流センター営業３課第一	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
7	田原物流センター営業３課第二	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
8	苫小牧営業所	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
9	神奈川営業所	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
10	静岡出張所	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
11	茨城営業所	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
12	群馬営業所	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
13	豊橋営業所	2007 年 10 月 02 日	2007 年 09 月 26 日	-
14	岡崎営業所	2006 年 10 月 06 日	2000 年 12 月 05 日	2014 年 02 月 18 日
15	刈谷北営業所混載課	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	-
16	刈谷北営業所車両課	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
17	三重いなべ営業所	2010 年 09 月 22 日	2010 年 09 月 28 日	-
18	安城南営業所	2007 年 10 月 02 日	2007 年 09 月 26 日	2016 年 10 月 3 日
19	大阪営業所	2011 年 10 月 18 日	2011 年 10 月 11 日	-
20	岡崎物流センター	2010 年 09 月 22 日	2010 年 09 月 28 日	-
21	西尾営業所	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	-
22	岡崎東営業所	2010 年 09 月 22 日	2010 年 09 月 28 日	-
23	西尾東物流センター	2017 年 09 月 25 日	2017 年 09 月 25 日	
24	東刈谷営業所	2000 年 01 月 04 日	2006 年 09 月 29 日	-
25	刈谷物流センター倉庫課混載課	2011 年 10 月 18 日	2011 年 10 月 11 日	-
26	刈谷物流センター通運課	2011 年 10 月 18 日	2011 年 10 月 11 日	-
27	刈谷中央物流センター	2004 年 07 月 23 日	2004 年 12 月 24 日	-
28	小垣江物流センター	2017 年 09 月 25 日	2017 年 09 月 25 日	
29	刈谷西物流センター	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
30	衣浦物流センター	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
31	電子デバイスセンター	2000 年 01 月 04 日	2006 年 09 月 29 日	-
32	東端物流センター	2006 年 10 月 06 日	2000 年 12 月 05 日	-
33	東端物流センター知立倉庫	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	
34	広島志和営業所	2007 年 10 月 02 日	2007 年 09 月 26 日	2016 年 10 月 3 日
35	広島瀬野物流センター	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
36	広島西条営業所	2008 年 09 月 24 日	2008 年 09 月 30 日	-
37	北九州営業所	2010 年 09 月 22 日	2010 年 09 月 28 日	-
38	九州宮田物流センター	2007 年 10 月 02 日	2007 年 09 月 26 日	-
39	福岡営業所	2010 年 09 月 22 日	2010 年 09 月 28 日	-
40	苅田営業所	2019 年 10 月 28 日	2019 年 10 月 28 日	

■内部監査の実施

間接部門の内部監査

定期的に内部監査を実施し、マネジメントシステムの有効性を確認しています。
発見された問題に対しては是正処置を実施し、内部監査員が気づいた改善アイデアについても推奨事項として助言がなされ、マネジメントシステムのレベルアップにつなげています。

実施期間	内部監査員	被監査部署	指摘件数
2019 年 6～8 月	各営業部 部長・事務局	70 部署	75 件

■安全性優良事業所として認定（Gマーク）

安全性優良事業所とは、荷主企業がより安全性の高いトラック運送事業者を選びやすくするために、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関（全日本トラック協会）が厳しい評価をし、認定した事業所です。
当社では、車両を保有している 18 事業所が認定を受けています。

（４）コンプライアンス

コンプライアンスは CSR 経営の基礎であるとの認識を持ち、磐石なものとすべく取組んでいます。特に、貨物自動車運送事業者として、公道を使用させて頂いているという意識を持ち、関連法規の順守に努めています。

■法順守評価の実施

毎年、関連法規の一覧をもとに、コンプライアンスの状況確認と是正を実施しています。
法順守評価を通して関連法規に関する知識を深め、順法意識を高める教育の機会も兼ねています。

5． 安全・品質に係わる活動

①目標と結果

■運輸安全目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度結果	2020 年度目標
重大事故(※1)	0 件	0 件	0 件
輸送の安全に関する投資額	243 百万円	210 百万円	468 百万円

■交通事故抑止目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度結果	2020 年度目標
自責交通事故(※2)	0 件	13 件	0 件
事故費用（損害金額）	0 円	485 万円	0 円
点数(※3)	0 点	60 点	0 点

■製品事故等抑止目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度結果	2020 年度目標
製品事故（荷主計上分）(※4)	55 件以下	63 件	49 件以下
製品事故（荷主非計上分）(※5)	10 件以下	4 件	8 件以下

■労働災害抑止目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度結果	2020 年度目標
重大労働災害(※6)	0 件	0 件	0 件
重大労働災害以外(※7)	3 件以下	10 件	3 件以下

※1　国土交通省自動車事故報告規則に定める事故 ①転覆・転落・火災・踏切・死傷 ②危険物の飛散漏洩 ③健康障がい ④車両故障等
※2　過失割合 30%超の交通事故
※3　事故種別・費用による評価点数
※4　荷主がカウントする事故
※5　荷主社内で事故扱いされない事故
※6　死亡災害・後遺症災害・休業 6 ケ月以上
※7　他責を含み、休業 3 日以内の災害・通勤災害は除く

②目標達成に向けた取組み

■安全に関する計画

具体的な計画を立て実行し、継続的に取組んでいます。

安全に関する計画	
運行記録計（解析指導）	毎月
安全推進会議（各部署）	毎月
グループ会議	毎月
職長会	毎月
事故研修会	発生翌月
無事故無違反強調月間	年４回
無事故表彰	年４回
トラック運転技能大会	年１回
フォークリフト運転技能大会	年１回
全国交通安全運動参加	年４回

教育計画	
新入乗務員研修	都度
安全講習会	年２回
事故惹起者研修	都度
管理監督者研修	年１回

■各種訓練

フォークリフト訓練

各事業所では、定期的にフォークリフト訓練を実施しています。訓練を行うことによって、品質の確保、力量の向上に努めています。
また、事業所内では、検品やピッキングの訓練のための道場を整備し、教育訓練に活用しています。
一人ひとりの意識・作業レベルの向上を図り、全体の品質レベルの改善につなげています。

■コメンタリー運転と指差呼称

指差呼称の実践

ヒューマンエラーによる事故や災害を防ぐため、コメンタリー運転（※1）と指差呼称（※2）を実践しています。
作業・行動の要所で指差呼称を行い、注意を喚起し意識レベルを高くします。

※1　時々刻々と移り変わる道路や交通の状況を、あたかも実況放送しているように声に出しながら車を進めてゆく運転方法
　　コメンタリー運転を実行することで、注意力の低下を防ぎ、危険に対する警戒心を高めることができる
※2　危険予知活動の一環として安全確認などの目的で指差を行い、その名称と状態を声に出して確認する

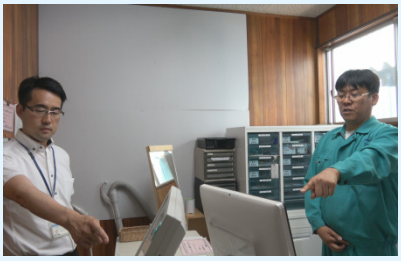
■無事故無違反強調月間

交通・製品事故ゼロを達成するため、無事故無違反強調月間を設けて、全社を挙げた意識付けに取組んでいます。
年 4 回の期間中は、車両への車幕の取付け、事業所の出入り口への立て看板とのぼり旗の設置を行い、社員の「安全宣言」バッジや腕章を着用して現場パトロールを実施しました。

進発式

現場パトロール

点呼



■短期・長期無事故表彰

毎年、無事故を達成したグループ・社員に対して、短期・長期の無事故表彰を行っています。
短期無事故表彰は、3 ヶ月間無事故・無災害を達成したグループに対し、長期無事故表彰は 3 年、10 年、20 年、30 年、38 年の間継続して無事故だった社員を表彰しています。
これにより、事故抑止目標の達成と社員の相互協力による安全意識の高揚を図っています。

項　目	2019 年度	累　計
短期表彰回数	4 回	216 回
長期表彰回数	1 回	105 回

長期無事故表彰式

■安全に関する社員講習会

安全に関する社員講習会

2019 年 11 月 23 日、福岡県遠賀町中央公民館にて「交通安全について」をテーマとした講習会を開催しました。
DVD を視聴した後、講師から内容について解説して頂きました。

■カリツーセーフティ・ラリーの開催

物流企業の社員として、社会の模範となる安全運転を実践することを目的に、2019 年 7 月から 12 月までの間にかけて、愛知県トラック協会主催の「トラック・セーフティ・ラリー（※1）」と連動させた「カリツーセーフティ・ラリー」を開催しました。
全社員が 5 名 1 組でチームを結成し、実施期間中の無事故・無違反の達成に向け取組みました。
今後も一人ひとりの取組みに関する意識を高め、全チームの達成に努めます。

項　目	2019 年度
全チーム数	728 チーム
達成チーム数	623 チーム
達成率	85.58%

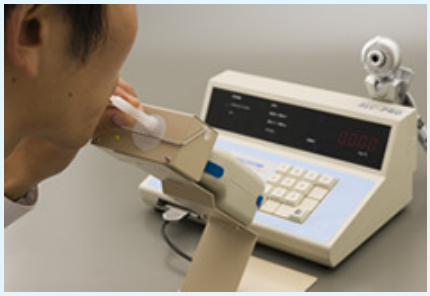
■正しい運転・明るい輸送運動への参加

交通・労働災害事故の防止、年末年始の輸送繁忙期における安全・安心な輸送サービス提供などを目的として、2019年11月から2020年1月にかけて、全日本トラック協会と各県のトラック協会共催の「正しい運転・明るい輸送運動」に参加しました。
各事業所において、「荷役作業時の安全確保の徹底」、「高速道路における事故防止の徹底」、「輸送品質・サービスの向上」など、重点実施事項を定めて運動に取組みました。

■アルコール検知器によるアルコール検知の実施

物流企業の社員として、勤務の内外を問わず飲酒による事故や検挙者を絶対に発生させないように、乗務員のみならず全社員が出退勤時にアルコール検知を実施しています。
本社を含む全事業所にアルコール検知器を配備し、遠隔地で乗務を開始・終了する場合には、携帯型のアルコール検知器を使用して、確実に実施しているか記録しています。

アルコール検知器



記録管理画面

遠隔地用アルコール検知器

※1　一定期間内の無事故・無違反を競い合うことによって、ドライバー、社員の交通安全意識を高め、チーム、事業所、支部内での事故、違反数の減少を図るとともに、愛知県内の交通事故死者数減少を目指すもの

■電子点呼システムの活用

事務所の大型ディスプレイにて出勤・点呼状況確認

当社では、日々の点呼において、自社で構築した電子点呼システムを活用しています。
事故やトラブルの展開や再発防止に向けた注意事項を、パソコンを使用した点呼時に各乗務員に確認させるなど、運行における法順守の徹底と乗務員の注意意識向上に向けて取組んでいます。

■デジタルタコグラフの活用

デジタルタコグラフ

すべてのトラックにドライブレコーダー一体型デジタルタコグラフを導入し、運行中の状況、行動を自動的にメモリーカードへ記録しています。
適切な運行の指導と、事故の未然防止に役立てています。
当社の使用しているデジタルタコグラフには、次のような特徴があります。
○運転アドバイス機能
○ドライブレコーダー一体型
○交差点走行診断
○コンプライアンス事項を集計し違反状況を管理

■ＳＤ情報（教育用オリジナルＤＶＤ）の展開

自社内スタジオの撮影

社員への教育材料として、ＤＶＤ「ＳＤ情報（※1）」を自社内スタジオで編集、展開しています。
リフト作業やトラック運転時の重要ポイントを、視覚・聴覚を使って理解することができます。
2019 年度は「コメンタリー運転の実践」、「事故原因と対策」等について展開しました。

■運転マナー等に関するご意見

当社の事業は公道を使用させて頂いて成り立っており、運転マナー等に関するご意見を頂戴することがあります。こうした一般の皆さまからのご意見を、我々の取組み姿勢のバロメーター（指標）として真摯に受け止めています。必要と判断した場合は、内容から対象者を特定し、事実確認後、個別指導を実施しています。
また、発生状況を月ごとにまとめ、全社での周知を図っています。

※1　セーフティ・ドライブ（安全運転）

■競技会への出場

当社では、専門知識の習得、運転技能及び点検技術の研鑽、交通安全に関する意識の向上を図ることを目的として、競技会へ積極的に参加しています。

2019 年度社外主催

開催日	競技会名	参加人数	入賞者（★愛知県代表として全国大会に出場）
6/23	第 40 回愛知県フォークリフト運転競技大会	6 名	優勝：刈谷物流センター　塩澤選手★
			2 位：西尾営業所　渡邉選手
			3 位：西尾営業所　小澤選手
6/30	第 23 回自動車運転技能競技会	6 名	中型部門優勝：安城南営業所　村越選手
			3 位：西尾営業所　樫本選手
			大型部門優勝：岡崎営業所　遠藤選手
			2 位：刈谷物流センター　天木選手
9/7･8	第 51 回愛知県トラック協会トラックドライバーコンテスト	6 名	中型部門優勝：刈谷北営業所　坪中選手★
			大型部門 3 位：安城南営業所三好選手
9/29	第 34 回全国フォークリフト運転競技大会	1 名	優勝：刈谷物流センター　塩澤選手
10/26･27	第 51 回全国トラックドライバーコンテスト	1 名	－

2019 年度社内主催

開催日	競技会名	参加人数
12/14	2019 年度カリツー・カリツー協力会共催ドラコン・フォークリフト合同大会	65 名

第 51 回全国トラックドライバーコンテスト

2019 年度ドラコン・フォークリフト合同大会

第 23 回自動車運転技能競技会

■労働災害

安全衛生委員会

社員が安全に働ける職場環境の整備へ向け、各事業所に安全衛生委員会を設置し、定期的に職場を巡視しています。
委員会では、各職場での安全衛生に対する意見を取り上げ、労働災害防止対策の見直しを検討しています。
また、災害発生時には、臨時委員会を開催し、対策改善提案・対策のフォローを行っています。

■労働災害の分析・水平展開

労働災害防止のため、発生した労働災害については、要因分析と発生原因の特定を行い、再発防止対策、是正処置を実施しています。
また、一連の労働災害情報をデータベースとして蓄積するとともに、水平展開をするなど、社内で共有しています。

■熱中症対策

作業環境改善品展示会

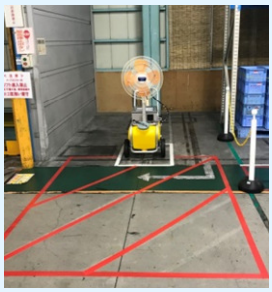
□作業環境改善品展示会の開催

熱中症対策として、情報展開による注意喚起を行いました。あわせて、塩飴・スポーツドリンク・氷・おしぼり等の備付け、温度計や湿度計の設置等の対策を実施しました。
また、快適な作業環境を実現するため、クールルーフファンやスポットクーラー等の涼風を給気する設備を導入しています。
2019 年 4 月 9 日、社内向けに作業環境改善品展示会を開催しました。フォークリフト用小型涼風機やファン付き上着などを展示して、各事業所の作業環境改善への早期取組みを奨励しました。

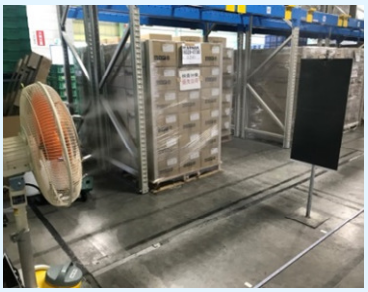
□事業所の熱中症対策

2019 年 7 月、熱中症対策として、一部の事業所の倉庫にミスト扇風機とクールダウン室を設置しました。
暑い時期に体感温度を下げ、気軽にクールダウンができるようにしました。
ミスト扇風機は、発生させた霧を風に乗せて放出し、周囲を涼しくする冷房器具です。
また、倉庫内にて涼める空間を作成するため、スポットクーラーを使用して、クールダウン室を設置しました。

ミスト扇風機



ミスト扇風機設置の濡れ距離感検証



クールダウン室

クールダウン室室内

６． 環境に係わる活動

（１）燃費向上に向けた取組み

①目標と結果

■燃費向上目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度目標比	2020 年度目標
全社・全車格平均燃費	0.5%向上	100.7%	0.3%向上

②目標達成に向けた取組み

■省エネ運転の実践

省エネ運転は、燃料の節約やCO_2の排出抑制につながるだけでなく、穏やかな運転をすることになり、安全性の向上にもつながります。

■各部署の燃費管理責任者による活動

各部署の燃費活動の中心として、燃費管理責任者（全 26 名）を選び、自部署の燃費管理、乗務員への教育・指導を行い、目標達成に向け取組んでいます。

■エコ発進の管理

デジタルタコグラフの運行データから、トラックの発進状況を 100 点満点で評価するエコ発進の点数を活用し、定期的に点数を確認、省エネ運転の管理・指導項目としています。

■タイヤ空気圧の点検・調整

空気圧点検

定期的にタイヤの空気圧点検を実施し、適切な空気圧に調整しています。
タイヤの空気圧が 15%下がると、燃費が 5%悪化すると言われています。

■ドライブマスターの活用

ドライブマスター機能

一部のトラックに搭載されているドライブマスター機能を活用しています。
各部署の監督者による乗務員への省エネ教育・指導時に、車両の運転状況や燃費を確実に把握でき、的確なアドバイスによる省エネ運転の向上を図っています。

■省エネ運転講習会への参加

省エネ運転講習会

社内での省エネ運転講習会を実施しています。
講習では、普段どおり運転をした後、座学で省エネ運転の知識を学び、実際に省エネ運転をすることで、通常と省エネ走行との違いを学びます。

■トラック「平均燃費」表示機能の活用

インフォメーション機能

トラックに搭載されているインフォメーション機能を活用しています。
運行終了時に平均燃費を表示し、乗務員が自分の燃費を記録用紙に記入することによって、燃費向上に向けた意識付けを図っています。

■高速型ディファレンシャルギアの装着（※1）

長距離用トラックの一部車型に高速型ディファレンシャルギアの装着を進めています。
燃料消費量を抑えることで燃費向上を図っています。

■地球環境保全運転　月度重点取組事項

省エネ運転に関する基礎的知識の周知を徹底するため、毎月重点取組事項を決定して、各部署に展開しています。

※1　高速走行時のエンジン回転数を下げて走行できる機器

（２）輸送業務によるエネルギー使用量と CO_2 排出量

■エネルギー使用量（Kl）

エネルギー源	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
軽油	11,230	11,779	12,826	13,047	13,159
ガソリン	24	23	28	24	28

■CO_2 排出量（t-CO_2）

エネルギー源	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
軽油	29,029	30,448	33,155	33,726	34,016
ガソリン	56	53	65	56	65
合計	29,085	30,501	33,220	33,782	34,081

（３）エネルギー使用量・CO_2 排出量削減に向けた取組み

■低公害車の導入（※1）

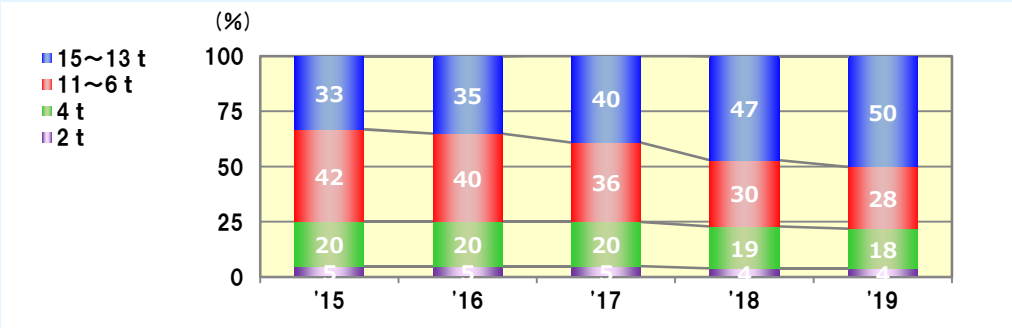
環境負荷の低減を目的に、低公害車の導入を積極的に進め、保有率の向上に取組んでいます。

項　目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
低公害車の台数	951 台	982 台	991 台	1,041 台	1,104 台
低公害車以外の台数	32 台	30 台	30 台	30 台	29 台
低公害車の保有率	96.7%	97.0%	97.1%	97.2%	97.4%

■輸送能力の高い車両の使用（効率輸送）

輸送能力の高い大型車両を積極的に導入し、混載輸送を促進することで、輸送回数の削減と輸送効率の向上に努めています。

大型車保有率の推移



※1　大気汚染物質（窒素酸化物や一酸化炭素、二酸化炭素など）の排出が少なく、環境への負荷が少ない自動車
愛知県の「県民の生活環境の保全等に関する条例」に定める低公害車の定義を採用

■環境に配慮した車両の導入

ＭＩＲＡＩ・プリウスＰＨＶ

リーフ

環境性能に優れた次世代自動車を導入しています。

□燃料電池自動車

水素と酸素の化学反応により発電した電気でモーターを動かし、排気ガス等を排出しない車です。

2017 年 7 月、本社にＭＩＲＡＩを導入しています。

□プラグインハイブリッド車

コンセントから差込プラグを用いて直接バッテリーに充電できるハイブリッド車です。

本社内に充電設備を設置しプリウスＰＨＶを導入しています。

□電気自動車

充電した電気でモーターを動かして走る車です。

岡崎物流センター敷地内に充電設備を設置しｉ-ＭｉＥＶを導入しています。

また、2018 年 3 月、リーフを本社に導入しています。

■太陽光発電

当社では、事業所の屋上等に太陽光発電パネルを設置し、発電をしています。

現在、13 拠点に設置し、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献しています。

田原物流センター太陽光発電パネル

福岡県太陽光発電パネル

■グリーン購入・調達

環境への負荷をできるだけ少なくするために、グリーン購入（環境に配慮した製品の選択）を推進しています。

「グリーン購入管理指示書」を制定し、物品調達にあたっては、その必要性をよく考えた上で、価格・機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入するよう努めています。

□省エネ型照明への転換を推進

倉庫内や駐車場などの光源を、従来型照明からＬＥＤに取り替えるなど、高い省エネ効果が見込まれる機器への転換を積極的に進めています。

（４）その他の環境保全活動

■油脂漏れ緊急対応訓練

車両等からの油脂（燃料・オイル等）漏れを未然に防ぐため、日常点検にて確認を徹底しています。
万一発生した場合に、適切かつ迅速に対応できるよう、あらかじめ手順を決め、毎年油脂漏れ緊急対応訓練を実施しています。

広島志和営業所訓練

岡崎営業所訓練

茨城営業所訓練

■廃棄物に係わる取組み

日々の事業活動で排出される廃棄物の処理については、分別を徹底し、再生可能なものはリサイクルを進め、排出量の削減に取組んでいます。

□再生タイヤ（リトレッドタイヤ）

環境負荷低減のため、従来から再生タイヤの導入・装着を積極的に進めています。
再生タイヤは新品タイヤの 32%の資源で製造可能といわれています。
また、製造過程、廃棄段階で CO_2 削減効果が期待できます。

□「リサイクル部品」の活用

廃車から再利用可能な燃料タンク・リフト回転灯・前進チャイムなどを回収し、「リサイクル部品」として社内で活用しています。

□再資源化の推進

廃棄物として処理を委託していた廃プラスチック類（荷受品の固縛のために使用したラップ等）や、廃油・ダンボール・古紙などの分別活動により、リサイクルを推進しています。

□産業廃棄物処理委託先の現地確認

法律・条例の趣旨に則り、年に 1 回、処理委託先を訪問しています。
排出した産業廃棄物が適正に処理されているか、チェックシートを使用し、現地確認を行っています。

（5）環境会計（※1）

当社では、環境会計を導入し、環境保全コスト（投資・費用）を管理することで、効果的な環境配慮の取組みを推進しています。（※2）

■環境保全コスト（※3）

（千円）

コストの分類		主な取組みの内容	投資額(※4)	費用額(※5)
事業エリア内	公害防止	低公害車（トラック）、浄化槽の維持管理費等	1,385,269	1,181,344
	地球環境保全	バッテリーリフト、エコタイヤ等	372,625	407,792
	資源循環	廃棄物処理費用、高性能オイル等	–	36,600
上・下流		排水補償金等	–	166
管理活動		ISO 審査、CSR レポート発行等	–	39,704
研究開発		物流改善スタッフ費用等	–	126,307
社会活動		業界団体会費、募金等	–	4,432
環境損傷対応		土壌汚染の修復費用等	–	–
合計			1,757,895	1,796,349

■環境保全効果

環境パフォーマンス指標（単位）	2018 年度
産業廃棄物排出量（t）	3,025
電気使用量（千 kWh）	17,020
LPG 使用量（t）	473
NOx 排出量（t）	37
PM 排出量（t）	0.9
水使用量（m^3）	47,130

※1 事業活動における環境保全コストとその効果を明確にし、可能な限り定量的に測定・伝達するしくみ
※2 データは 2018 年度現在。2019 年度は集計中
※3 環境負荷の発生の防止、抑制または回避、影響の除去、発生した被害のまたはこれらに資する取組みのための投資額及び費用額
※4 対象期間における環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの（減価償却資産の当期取得額）
※5 環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

７．ステークホルダーに係わる活動

（１）お客様との係わり

■ＣＳアンケート（お客様満足度）調査結果について

お客様にはご負担をお掛けしますが、当社への評価についてアンケートを行い、以下の回答を頂きました。今後も同様のアンケートを定期的に行い、頂いたご意見を業務活動に活かし、お客様満足度の向上に努めて参ります。

□アンケート方法

お取引のあるお客様に各営業所からアンケートを依頼し、回答頂きました。

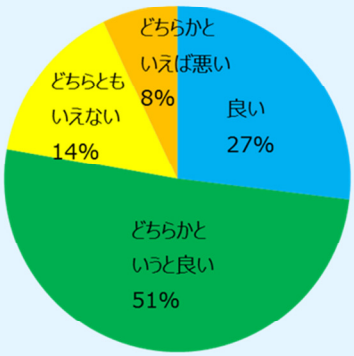
□アンケート項目

①品質について　②緊急対応状況について
③料金設定について　④提案力について
⑤社員マナーについて　⑥輸送会社の１つとして、カリツーを選択して頂いた理由

□アンケート結果

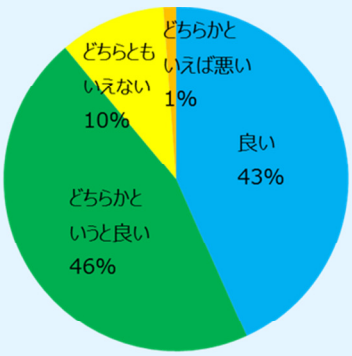
①品質について

ご回答：171名様	満足度：78%



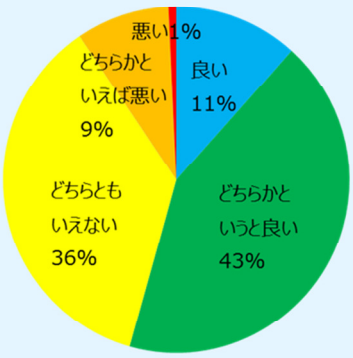
②緊急対応状況について

ご回答：171名様	満足度：89%



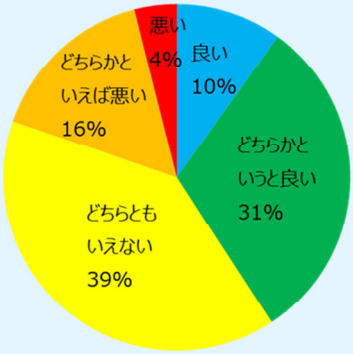
③料金設定について

ご回答：138名様	満足度：54%



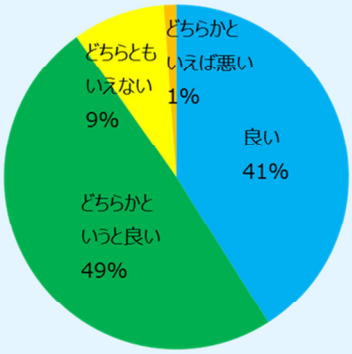
④提案力について

ご回答：138名様	満足度：41%



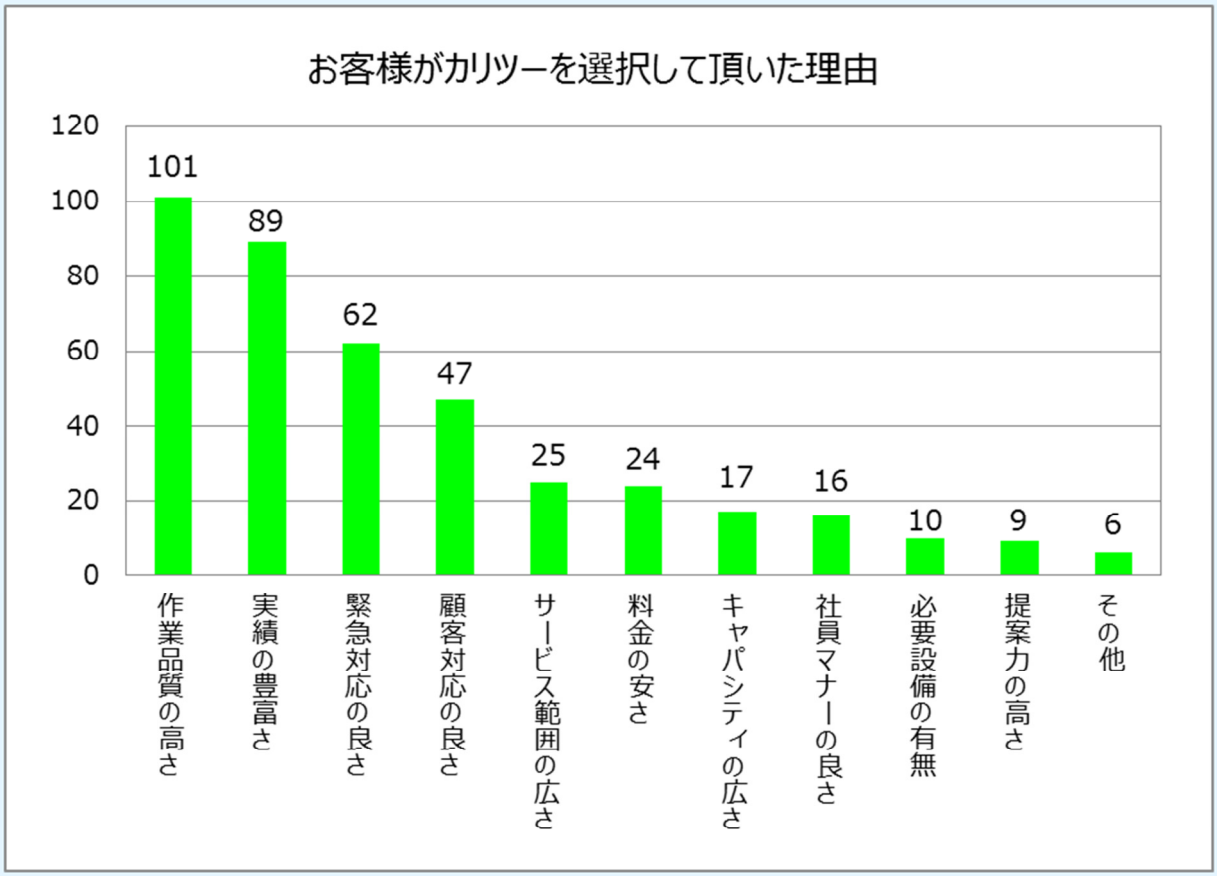
⑤社員マナーについて

ご回答：173名様	満足度：90%



⑥輸送会社の1つとして、カリツーを選択して頂いた理由

ご回答：146名様	複数回答可



お客様が当社を選択して頂いた理由として、「作業品質の高さ・実績の豊富さ・緊急対応の良さ」を多く挙げて頂きました。

□主なご意見・ご要望

○顧客対応の良さなどには、大変満足している
○緊急対応など柔軟に対応してもらったので、助かった
○乗務員への教育もしっかり行き届いている
○物流のプロの目線で積極的に VA 提案をして欲しい
○スピード感・柔軟性のある物流を提供して欲しい

□アンケートの結果を受けて

当社では、CS アンケートの結果を真摯に受け止め、物流サービスの更なる向上を目指し、より一層の努力を続けて参ります。お客様から今まで以上の信頼を頂けるよう、物流費低減のためのご提案や、安全品質向上への取組みに、社員一同尽力させて頂きます。
改めて、調査にご協力頂きました皆さまには、御礼申し上げます。

■合同教育訓練などへの参画

リフト訓練

□協力会研修会

協力会社の皆さまと合同して、トラック及びリフト訓練を開催しました。当日はトラック運行の発進時の注意ポイントや、リフト荷役の積降隣接確認などの操作確認を、実際にトラックを使用して体感してもらう実戦形式にて行いました。

合同リフト教育訓練

□合同リフト教育訓練

2019 年 8 月 10 日、西尾東物流センターにて、お客様と合同してリフト教育訓練を開催しました。

当日は事故事例の分析や、危険予知トレーニングを行い、特設会場でリフト実施訓練を行いました。

（２）社会との係わり

■災害時における対応

□物資集積拠点に関する協定書を締結

2017 年 11 月、西尾市と災害時における物資集積拠点に関する協定書を締結しました。

この協定は、西尾市内において地震その他の災害により被害が発生する場合に、当社の一部の施設を物資集積拠点として使用するものです。

□緊急時における軽油供給対応

全日本トラック協会に対して、震災等の災害発生時、優先的な軽油供給の要請があった場合、速やかに対応することを誓約しています（対象は一部の施設）。

■交通安全

交通安全立ち番

□交通安全立ち番

各事業所では、交通安全活動の推進に向け独自に、または地域や同業他社と連携して、定期的に交通安全の立ち番や交通安全パトロールを行っています。

交通安全教室

□交通安全教室への車両提供

トラック協会主催の児童向けの交通安全教室において、当社からもトラックを提供し役立てて頂きました。

校庭で風船を使った大型トラックの内輪差による左巻き込み実験や、運転席からの死角を運転席やトラックの外から確認する死角体験の学習に協力しました。

■職場体験の受入

職場体験

毎年一部の事業所において、中・高校生を対象とした「職場体験」に協力しています。

倉庫内の在庫管理・入庫作業や検品作業などを体験して、物流業への理解を深めて頂きました。

■地域未来牽引企業（※1）

当社は経済産業省より、地域牽引企業の担い手、及び担い手の候補となる地域の中核企業として、地域未来牽引企業に選定されました。

これからも事業を通じて、地域経済の発展に貢献していきます。

■環境美化活動

地域の環境美化のため、地域・お客様主催の清掃活動へ参加しています。

各事業所周辺での定期的な清掃活動を行っています。

■支援活動・寄託

小学校へベルマーク寄付

□ベルマーク寄付

2013 年より、女性活躍推進チームの活動の一環として、ベルマークの寄付を行っています。

これまで愛知県の他に、事業所を置く広島県東広島市と大阪府摂津市の小学校等へ 110,000 点を寄付しました。

※1　地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開すること、または、今後取組むことが期待される企業

■協賛・賛助会員

当社は社会貢献などの事業に賛同し、協賛を行っています。下記はその一例です。

分野	団体名等
教育支援	毎日学生新聞企画
社会福祉	特定非営利活動法人安城まちの学校
	公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知
	特定非営利活動法人アジア車いす交流センター
	公益社団法人被害者サポートセンターあいち
国際交流	オイスカ刈谷推進協議会
芸術	名古屋フィルハーモニー交響楽団、安城市交響楽団
スポーツ	特定非営利活動法人かえるスポーツクラブ
伝統文化	安城七夕まつり協賛会

■社外からの表彰等

2019 年度における、社外からの表彰実績等の一部は下記の通りです。

授賞機関名	表彰名	受賞者数
国土交通省	国土交通大臣表彰	1 名
厚生労働省	厚生労働大臣表彰（全国フォークリフト優勝者）	1 名
警察関係表彰	無事故無違反 10 年・15 年・20 年	3 名
中部運輸局愛知運輸支局長	優良運転者表彰	1 名
愛知県高速道路交通安全協議会長	優良運転者表彰	1 名
陸上貨物運送事業労働災害防止協会	フォークリフト運転競技大会　全国大会　優勝	1 名
	フォークリフト運転競技大会　県大会	3 名
公益社団法人全日本トラック協会	優秀運転者顕章　金十字章	4 名
	優秀運転者顕章　銀十字章	3 名
一般社団法人愛知県トラック協会	愛知県トラック協会会長表彰 （フォークリフト全国大会優勝者）	1 名
	トラックドライバーコンテスト中型部門優勝	1 名
	トラックドライバーコンテスト大型部門	1 名
	自動車運転競技会　大型部門	2 名
	自動車運転競技会　中型部門	2 名
株式会社デンソーロジテム	フォークリフト競技会	1 名
中部交通共済協同組合	優良運転者表彰	1 名
刈谷自家用自動車組合	交通安全功労者	1 名
	優良自動車運転者表彰	4 名
合計		32 名

（３）事業継続計画（ＢＣＰ）等に関する取組み（※1）

事業継続を困難とする地震・台風・水害・感染症等に備え、人命・健康を最優先としたＢＣＰの策定に取組んでいます。

防災対応力の向上を目的として、防災訓練や大規模地震対応ガイドの展開等、様々な取組みを進めています。

■事前対策

□防災マニュアルの制定

南海トラフ巨大地震を想定した、大規模地震対応ガイドを制定しています。

□防災対策用品の整備

災害発生時に備え、各事業所に防災対策用品を確保しています。

定期的に点検を行い、非常時に使用できるよう維持管理をしています。

□倉庫の震災対策

倉庫の震災対策として、製品の転倒・落下防止対策を進めて、安全面の向上に努めています。

具体的な取組みとして、スライド扉・側面ネットの設置、ストッパーや連結パイプの取付け等を実施しています。

落下防止スライド扉

落下防止ストッパー

転倒防止連結パイプ

□情報システムの対策状況

事業活動の継続に情報システムの維持は欠かせません。

当社では、自家発電機、無停電・定電圧装置、本社サーバーを免震プレート上に設置、データセンターを活用したデータバックアップ対策を実施し、震災等に備えています。

今後も最新ＩＴを研究し、オールカリツーで、より一層の BCP 対策のレベルアップを進めて行きます。

非常用電源装置

□バッテリーフォークリフト非常用電源装置の導入

複数の事業所に、バッテリー式フォークリフトを使用した非常用電源装置を導入しています。

停電発生時にフォークリフトと機器を接続し、非常用電源として活用できます。

※1　企業が自然災害・大火災・テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法・手段などを取り決めておく計画

■防災訓練

□全社一斉防災訓練

当社では、災害対策組織を編成し毎年定期的に訓練を行うことで、万一の災害に備えています。
2019 年 9 月 7 日、カリツー全社で、地震の発生を想定した一斉防災訓練を実施しました。
訓練では、職場より一時避難場所への避難、発電機や衛星電話、IP トランシーバーを使用した災害状況報告、安否確認等を行いました。

避難訓練

避難所の確認

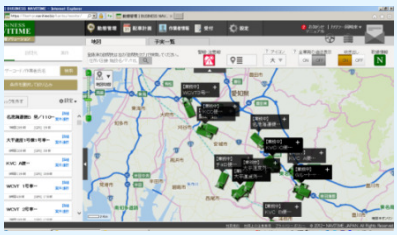
IP トランシーバー訓練

安否確認システム

□安否確認システムと安否確認訓練の実施

企業の危機管理の一環として、災害時における社員と家族の安否を確認するために「セコム安否確認システム」を運用しています。
災害時、全社員の安否確認を確実に行うため、各四半期末に繰り返し訓練を実施しています。

車両動態管理システム



□車両動態管理システムの運用

「セコム安否確認システム」と合わせ、災害発生時に車両と乗務員の位置情報を即座に管理者が把握できるよう「車両動態管理システム」を運用しています。

■防災に関する社員講習会

防災に関する社員講習会

2019 年 9 月 7 日、愛知県碧南市芸術文化ホールにて「職場と家庭の備えと防災対策」テーマとした講習会を開催しました。
講師から、命を守る防災対策の考え方と、どのような災害に備えたらいいのか、死なないための防災対策と優先順位のポイントを、テーマ別にわかりやすく解説して頂きました。

■COVID-19（新型コロナウイルス）感染対策

2020 年１月より世界各地で感染者が拡大している新型コロナウイルスに対し、当社としても、感染拡大の防止及び事業継続（BCP）の観点から、各種感染拡大防止対策を実施しています。

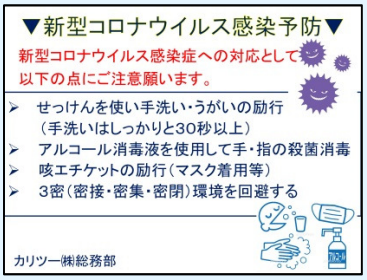
□対策会議の開催

関係部署と経営層を交えた対策会議を発足し、会社の新型コロナウイルス対策に対する方向性と指針及び各種施策を決定し、対応しています。

□予防活動の徹底

感染拡大防止のため、従業員に対し、日頃の予防対応の要請を行い、全社をあげて予防対応に取組んでいます。

社内用掲示



消毒セット（事業所配布用）

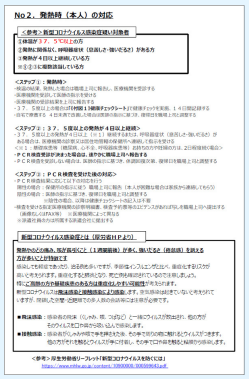
感染予防行動

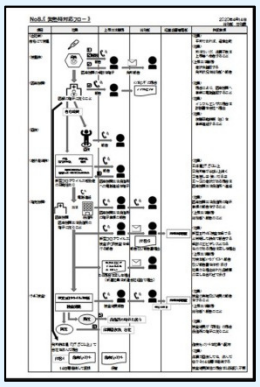
○不要不急の外出を控える
○出社前に毎日検温する
○こまめな手洗い等の実施
○咳エチケットを守る
○3 密環境を回避する

□対応マニュアル作成

新型コロナウイルスへの対応について、会社のルールを決めてマニュアル化しました。
全社で対応が統一化され、会社一丸となって対策を行えるようになりました。

新型コロナウイルス対応マニュアルの一部





□今後のさらなる対策

新型コロナウイルスに対する状況の変化に応じて随時対策を更新していきます。
この難局を乗り切り、事態が終息するまで対処していきます。

（４）社員との係わり

■人材育成

□ハラスメント講習会

2019 年 6 月 1 日、社員講習会にて「ハラスメントについて」をテーマとした講習会を開催しました。
講師から、ハラスメントの事例を例に、解説して頂きました。

□職員の教育・研修制度

社員の能力向上のため、各種教育・研修を体系的に行っています。

新入社員研修

社内研修

□現業員物流改善研修

現場の第一線監督者（ブロック長）を主体として、現業員物流改善研修を実施しています。
現場の安全・品質・生産性向上に向け、核となって改善を継続的に推進できる人材の育成を目的としています。１ヵ月にわたり座学と現場実習を実施しました。
ＴＰＳ（トヨタ生産方式）の考え方の習得や自部署での実践の進め方を学びます。

□取得資格

特定の資格取得・受講に対して、社員の申請に基づき一定の補助を行っています。
下記はその一例です。

内　容
運行管理者・通関士・国内旅行業務取扱管理者・衛生管理者（第一種）・安全管理者・
防火管理者（甲種）・危険物取扱者（乙種第４類）・はい作業主任者・積卸し作業指揮者・
床上操作式クレーン運転・自動車整備士・物流経営士（物流大学校）・物流技術管理士

■働きやすい職場作り

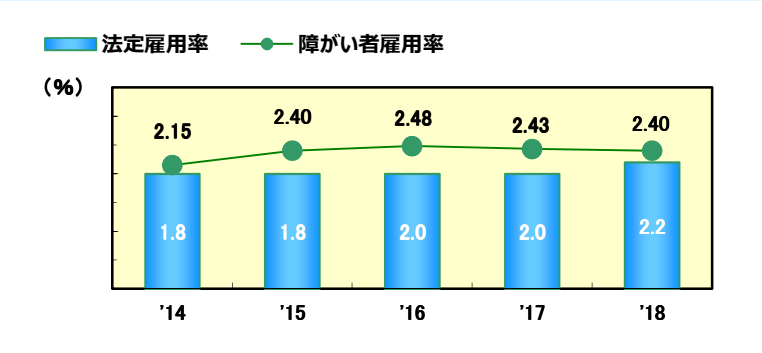
社員が仕事と生活を両立できる働きやすい職場作りに努めています。
「育児休業制度」や「介護休業制度」など、小さな子供や介護の必要な家族がいる社員を対象に、様々な制度を定め推進しています。

区分	制度	概要
育児	育児休業	最大子供が 2 歳まで
	所定外労働の免除・勤務時間の短縮	子供が小学校就学前まで
	時間外労働・深夜業の制限	子供が小学校就学前まで
介護	介護休業	原則として通算 93 日まで
	勤務時間の短縮	3 年間に 2 回まで
両立支援	各種休暇	介護・子供の看護

■障がい者雇用の推進

当社では、積極的に障がい者の採用活動を行い、雇用率の向上に取組んでいます。
今後も引き続き、ハローワーク主催の面接会に参加する等、障がい者の採用活動を積極的に展開していきます。
また、職場の理解を深めるため、各障がいについてまとめた冊子の配付などを行っています。

障がい者雇用率の推移（※1）



冊子の配付

■健康管理の充実

毎年全社員を対象とした定期健康診断を実施しています。診断結果に基づく 2 次検診受診のフォローを行い、健康起因による事故の防止と、社員の心と体の健康管理に努めています。

□睡眠時無呼吸症候群（ＳＡＳ）検査の実施（※2）
睡眠時無呼吸症候群の影響による事故防止対策として、簡易検査装置であるスクリーニング検査機器を自社購入し、定期的に全乗務員に検査を実施しています。

※1 データは 2018 年度現在。2019 年度は集計中
※2 睡眠中に無呼吸が断続的に繰り返される病気。その結果、日中に眠くなる、集中力や活力に欠けるなどの状態が生じる

（５）業務改善提案の促進目標

①目標と結果

■業務改善提案の促進目標と結果

項　目	2019 年度目標	2019 年度結果	2020 年度目標
業務改善提案件数	4,834 件	4,798 件	4,993 件

②目標達成に向けた取組み

職場環境の安全性や物流効率の向上、環境負荷低減等を目的とした業務改善提案を、全社員が提出できるようになっています。また、全ての提案を社内ネットワーク上にて公開しています。

■提案グランプリ賞

提案グランプリ賞表彰式

提案者個人の提案評価点を累計した通算点数に応じ、提案グランプリ賞を授与しています。
2019年6月1日、社員講習会にて表彰式を行いました。

項　目	ダイヤモンド賞	金　賞	銀　賞	銅　賞	合　計
2019 年度受賞者数	5 名	10 名	29 名	39 名	83 名
受賞者数累計	27 名	82 名	180 名	473 名	762 名

■ＱＣサークル活動の推進

活力ある職場作りに向けて、ＱＣサークル活動の活性化を推進しています。
小集団で職場の問題解決に半年間取組み、業務の最適化・効率化を図りました。
2019年12月7日に第7回ＱＣサークル大会が開催され、代表の7チームによる発表の結果、豊田西物流センターが優勝しました。

表彰	部署	テーマ
優勝	豊田西物流センター	ミッション順立作業の改善
2 位	東端物流センター	バッティング 0 への取組み
3 位	刈谷北営業所	工程内不良防止対策

優勝　豊田西物流センター

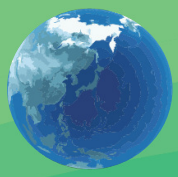
国際物流サービスのご案内

陸路から空路、陸路から海路へ。

カリツー × 国際物流

カリツーの新しい物流サービス始まります。
お客様と海外ご依頼先を直接結ぶ、ノンストップサポートです。

国内トップクラスのサービスを誇るカリツー。
新たな物流ソリューションで、
変化するビジネスを支えます！



日本から世界へ、世界から日本へ。
一貫した物流サービスをご提供いたします。

〈サービスイメージ〉

サービスメリット

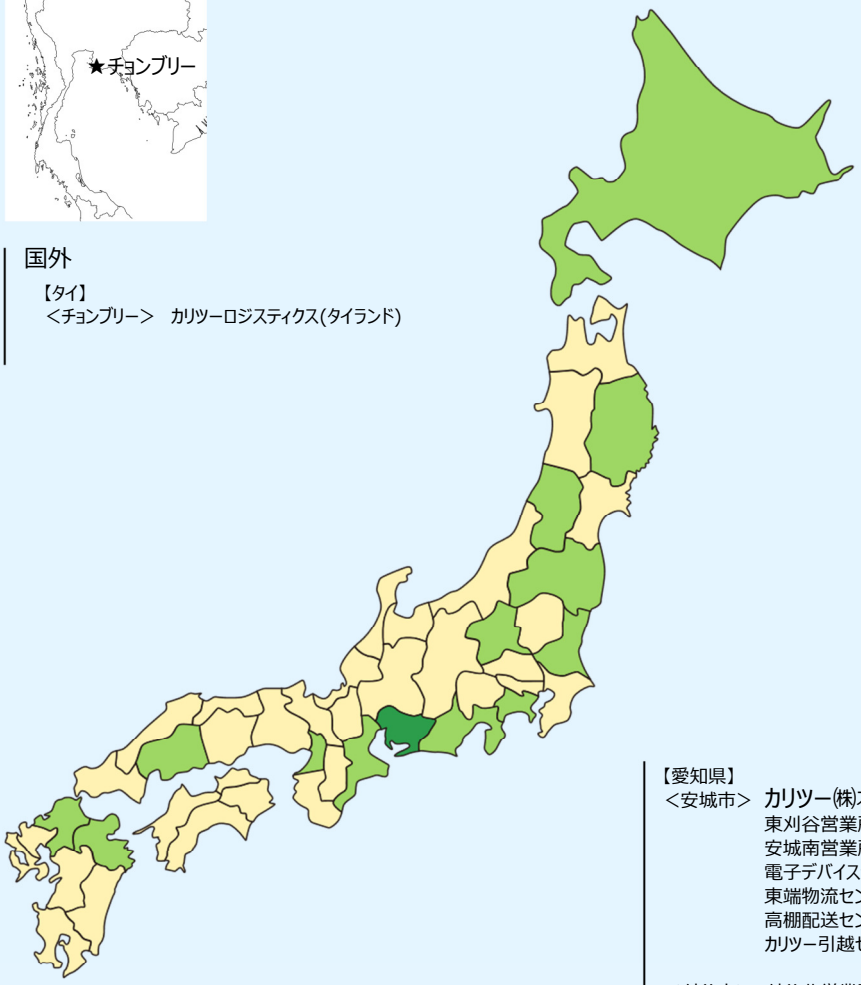
- ■輸出入に必要な様々な作業・手配を一貫してお受けし、お客様の煩雑な業務を削減します。
- ■国内で培ったトラック輸送のノウハウと海上・航空輸送の最適な組み合わせで迅速にお荷物をお届けします。
- ■さらに海外現地法人※・代理店と連携した国際物流サービスを提供します。

※海外現地法人は 2018 年に設立予定（詳細は次ページにて）

営業拠点一覧

国外

【タイ】
＜チョンブリー＞　カリツーロジスティクス(タイランド)



国内

【北海道】　苫小牧営業所
カリツー北海道本社営業所

【岩手県】　カリツー東日本岩手営業所

【山形県】　カリツー東日本山形出張所

【福島県】　カリツー東日本郡山本社

【茨城県】　茨城営業所

【群馬県】　群馬営業所

【神奈川県】　神奈川営業所

【静岡県】　静岡出張所

【三重県】　三重いなべ営業所

【大阪府】　大阪営業所

【広島県】　広島瀬野物流センター
広島志和営業所
広島西条営業所

【福岡県】　北九州営業所
福岡営業所
九州宮田物流センター
苅田営業所

【大分県】　カリツー九州大分中津営業所

【愛知県】

＜安城市＞　カリツー㈱本社
東刈谷営業所
安城南営業所
電子デバイスセンター
東端物流センター
高棚配送センター
カリツー引越センター

＜刈谷市＞　刈谷北営業所
刈谷中央物流センター
刈谷物流センター
刈谷西物流センター
小垣江物流センター
ロジテム小垣江

＜知多郡＞　衣浦物流センター

＜豊田市＞　岡崎物流センター

＜みよし市＞　豊田西物流センター
みよし物流センター

＜岡崎市＞　岡崎営業所
岡崎東営業所
ロジテム岡崎

＜西尾市＞　西尾東物流センター
西尾営業所

＜豊橋市＞　豊橋営業所

＜田原市＞　田原物流センター

カリツー株式会社

お問合せ先：経営企画管理部　企画管理室
〒446-8540　愛知県安城市三河安城町一丁目４番地４
TEL（0566）73-5619　FAX（0566）73-5627
URL：http://www.karitsu.co.jp/

2020 年 5 月発行